

平成27年度第1回社会教育委員会議 会議録

【開催日時】 平成27年6月30日(火) 午後1時30分から2時40分まで

【開催場所】 教育委員会 大会議室

【出席者】

(委員)

浅間委員、飯牟礼委員、飯山委員、岡本委員、佐中委員、佐野委員、椎谷委員、伴委員、藤間委員、森委員、山田委員、渡邊委員 (12人)

(職員)

小林生涯学習部長、増田生涯学習部次長(兼生涯学習課長)、西沢文化・スポーツ課長、日暮図書館長、斉藤鳥の博物館長、今井生涯学習課主幹(兼公民館長)、小林文化・スポーツ課長主幹、宇賀神図書館長補佐、安富鳥の博物館長補佐、生涯学習課 望月、湯下

【傍聴人】 なし

【会議次第】

- 1 開会のことば
- 2 社会教育委員長挨拶
- 3 生涯学習部長挨拶
- 4 議事(議長:渡邊委員長)
 - (1)報告事項
 - ①平成27年度東葛飾地区社会教育連絡協議会事業計画及び予算について(資料1)
 - ②平成28年度第58回全国社会教育研究大会千葉大会(案)について(資料2)
 - ③平成26年度社会教育施設利用状況について(資料3、3-2、3-3)
 - (2)協議事項
社会教育委員会議で調査研究をする事項の提案について
 - (3)その他
- 5 閉会のことば

【配布資料】

- 資料 1 平成27年度東葛飾地区社会教育連絡協議会事業計画及び予算書
資料 2 平成28年度第58回全国社会教育研究大会千葉大会(案)
資料 3 平成26年度社会教育施設利用状況
資料 3-2 平成26年度自主事業実施報告書
資料 3-3 平成26年度自主事業実施結果報告書

- 当日配布資料
1. 「我孫子市ラブホテルの建築規制に関する条例」に基づく審査会委員の推薦について（依頼）
 2. 我孫子市生涯学習推進計画策定スケジュール(案)

【議 事】

(1) 報告事項

① 「平成27年度東葛飾地区社会教育連絡協議会事業計画及び予算について」（資料1）生涯学習課から報告。

●生涯学習課：資料1の1ページ目をご覧ください。平成27年度東葛飾地区社会教育連絡協議会事業計画及び予算について報告いたします。去る5月11日に、東葛飾地区社会教育連絡協議会第1回役員会議及び評議員会が行われ、渡邊委員長、飯牟礼副委員長と事務局が出席いたしました。評議員会において、平成27年度事業計画及び予算が議決されましたので報告いたします。まずはじめに資料1の1ページ、平成27年度東葛飾地区社会教育連絡協議会事業計画書について説明いたします。表の中の7月以降の役員会議は、委員長と事務局が出席します。また、8月24日の研修会、10月26日の振興大会、1月22日の合同研修会につきましては社会教育委員の皆さまが対象となっております。8月の研修会は湖北地区公民館、1月の研修会は水の館を予定しています。開催日近くになりましたら、事務局から案内通知を送付させていただきますので、是非ご出席ください。

2ページの平成27年度東葛飾地区社会教育連絡協議会予算書をご覧ください。収入につきましては、各市負担金として40,000円×6市分で240,000円、繰越金が193,978円、預金利子が50円で434,028円となります。支出につきましては項1の会議費は、1,600円減になっています。これは昨年度は飲料を1本120円で計算していたものを100円にしたことで減になっています。項2の事務局費は需用費の切手代が400円減になっていること、また参加費の講座振込み手数料が26年度108円で計上していたものが216円に増になった結果292円の減になっています。項3の事業費は平成26年度と同様の金額を見込んでいます。項4につきましては、こちらも口座振込み手数料が108円の増となっていますので、総額430,028円となります。事業計画予算については以上です。

○渡邊委員長：ただ今の報告について、ご意見やご質問がある方はいらっしゃいますか。平成27年度は我孫子市が会場になっている研修会がありますので、是非ご出席下さい。

② 「平成28年度第58回全国社会教育研究大会千葉大会(案)について」（資料2）生涯学習課から報告。

●生涯学習課：平成28年度第58回全国社会教育研究大会千葉大会（案）について報告いたします。資料2をご覧ください。来年度に、第58回全国社会教育研究大会が千葉県で行われることになりました。4月28日に第1回実行委員会が開催され、実行委員として渡邊委員長と、事務局が参加しました。資料の裏面に日程等の記載がありますが、開催日は、平成28年10月26日から28日、会場は千葉市になり、皆様のご出席をお願いする予定です。現在のところ、大会日程2日目の10月27日は教育委員会からバスを借り上げ、翌日3日

目の分科会へは事務局の車で会場へ向かう予定であります。現在は各市町村がブロックごとに分かれ、準備を始めているところです。県に確認したところ、今回お配りした資料は、今年度中にまだ若干変わるかもしれないとのことですので、案で出させていただきます。今後も実行委員会が定期的に開催され、その中で細かいことが決定していきます。今後、変更点や報告がありましたら、社会教育委員会議の中でお伝えしていきます。

○渡邊委員長：ただ今の報告でご意見ご質問はありますでしょうか。この大会の3日目の学校教育支援の推進に関する分科会で、私が発表を行うことになりましたので、応援していただけると助かります。いろいろな教室で講座を行っているのですが、このような講演はどのように行ってよいか戸惑っている状態ですので、ご協力よろしくお願ひします。

●生涯学習課長：参加費が5,000円となっておりますが、こちらのほうで平成28年度に予算要求をする予定ですので、ぜひご参加下さい。

○渡邊委員長：実質2日間となりますけれども、よろしくお願ひします。

③「平成26年度社会教育施設利用状況について」（資料3、3-1、3-2）各から補足説明。

●生涯学習課長：施設の利用状況の報告になります。まず、資料3の1ページから3ページまでになります。26年度の地域交流教室の利用状況は記載のとおり、年々利用数は増えております。25年度と比較して、26年度は4.1パーセントの増、24年度と25年度を比べますと5.8パーセントの増となっております。次に2ページと3ページは視聴覚ライブラリーの利用状況となっております。視聴覚ライブラリーの利用件数、それから16ミリフィルムの利用状況ともに25年度と比較して増えております。ビデオについてはビデオ自体が減っておりますので利用件数も減っていく傾向になるかと思われまふ。DVDについては、前年度と同等の数字となっております。

●公民館長：公民館は4ページからになります。まず、平成26年度公民館事業実施状況です。まずは学級・講座です。学級につきましては公民館が主催し、通年で行っている学級が5つあります。こちらのほうは年度当初に募集をかけ、1年を通しての学習ですので、実施回数はそれぞれの学級の数に応じたものとなっております。講座につきましては、「アビコでなんでも学び隊」です。これは小中学生対象に夏休み期間や、土日などに、子どもたちを対象に実施しているものです。こちらも定数制で行っています。同じ時期に皆さんが休みということもあり、応募者が多くかなりの競争率ですので、続けていきたいと思っております。

次に平成26年度公民館利用状況についてです。我孫子地区公民館、湖北地区公民館の合計になっています。我孫子地区公民館につきましては、利用回数は前年度比721回と増加していますが、人数は17,002人ほど減少しています。これは我孫子地区公民館においては、市の主催事業のジャパンボードフェスティバル、健康フェアの参加人数が非常に減ったという状況があったためです。また、25年度に実施した市民フェスタを26年度は実施しなかったためその分も減っています。湖北地区公民館につきましては、12月に行われまふ衆議院選挙、1月に行われまふ市長選挙の期日前投票所として使用されまふたので、その影響で前年度より4,969人増えまふた。

6ページから7ページは出前講座の状況になります。生涯学習出前講座は、市役所メニューが83講座、公共機関等メニューが1講座、市民講師メニューが123講座、キャンパス

メニューが25講座あります。出前講座には市民の皆様が自主的に学習をしたいと思ったときに、どのような先生がいい、というような情報を整理したメニュー表というものがありません。この表は、メニュー表をご覧になったうえで申し込みをし、利用された件数を表した表になっていますので、全てのメニューを行っているということではありません。自治会で毎年行われている救命体験などが多く利用されています。公民館担当は以上になります。

- 文化・スポーツ課長：白樺文学館については1,200人、杉村楚人冠記念館については約1,000人の増加になっています。これにつきましては26年度から3館共通チケットを導入した影響が大きいと思います。各館でホームページを持っていて、企画展等のPRを行っています。また、白樺文学館は杉村楚人冠記念館のPR、杉村楚人冠記念館は白樺文学館のPRを行っています。白樺文学館も杉村楚人冠記念館も多くの方がホームページを見ていらっしゃると思いますので、白樺文学館のホームページを見た方は杉村楚人冠記念館のホームページも見ていただき、杉村楚人冠記念館のホームページを見た方は白樺文学館のホームページも見ていただくという形で相乗効果として現れています。また、現在白樺文学館では柳兼子のピアノの演奏を市民ボランティアの方が演奏し、BGMとして流していますので、マスコミのほうに取り上げていただき読売新聞の土曜日か日曜日の東葛版に記事が載っています。そのようなことも影響し増加していると思われます。杉村楚人冠記念館につきましては、嵐の相葉雅紀さんが出演している映画の撮影地となりました。今年の12月に映画が公開されたあと、全国あちらこちらから多くの方がいらっしゃっています。相葉雅紀さんが座った縁側ということでそこに長くおすわりになっている方もいらっしゃいました。このようなことで大変人気が出ました。先日その映画のDVDが出されましたので、DVDをご覧になって杉村楚人冠記念館に来る方もいらっしゃいます。撮影で利用していただいたことなど、タイミングが全てうまく合い来館者数の増につながりましたので、このまま維持していきたいと思っています。
- 文化・スポーツ課主幹：続きまして、平成26年度体育施設利用状況表についてご説明します。平成26年度は平成25年度に比べまして利用人数が減少傾向にあります。屋外施設については、6月は雨天が多く利用不可日が多かったため減少しています。無料のサッカー場は、4大会減少したため利用人数が減少しています。10月の体育館の屋内の利用は約1,000人減っています。これは平成25年度はチャレンジスポーツフェスタの人数が計上してあるのですが、平成26年度は計上されていないのが原因です。11月の減少人数が大きいのですがこれは行わなかった大会があったためです。体育施設は屋外もありますので、天候や大会の開催状況に影響が出てきます。続きまして、12ページの平成26年度我孫子市ふれあいキャンプ場年間利用状況についてです。月によってばらつきがありますが、合計では前年度より13.2パーセント増加しました。件数は減っていますが、1件あたりの人数が増えています。最近では遠方から来る方が増えてきました。今はインターネットで検索でき、利用料金も安いということで、電話で埼玉県や東京都の方などからも問い合わせを受けています。最近ではJ:COMがCM撮影をしたいとの問い合わせを受けたりしまして、そのような形でも使われたりしています。
- 公民館長：資料3-2平成26年度自主事業実施報告書について説明します。平成26年度の事業が全て終了しましたので湖北地区公民間指定管理者アクティオから、自主事業実施報告を

受けました。こども向け事業、親子向け事業、中高年向け事業、一般成人向け事業という形で行われました。平成26年度の開催件数は全部で75回、指定管理を受けた当初の平成25年度は52回でした。こういったものに需要があるのかなど、手探りの状態でしたが何とか2年目を終えることができました。27年度はもう少し回数を増やして全部で78回程度の開催を見込んでいます。

- 文化スポーツ課主幹：続きまして資料3-3平成26年度自主事業実施結果報告書について説明します。指定管理者主催事業については、ここ何年か同じような事業が続いているためか、参加者の人数は減少しています。今年度は、指定管理者が変わり、実施する事業も変わりますので変化が見られると思います。
 - 図書館長：資料13ページ、図書館の利用状況です。少子高齢化、活字離れ等により全体的に減少しています。14ページの貸出利用者数については前年度と比べて1.7パーセントの減になっています。利用カード登録者数は3.4パーセント増加になります。資料の18ページ、録音図書等の郵送貸出利用状況については、市内の朗読ボランティア団体と協働で行っており、平成25年度と比べまして、平成26年度は126パーセント増加しました。
20ページのおはなし会ですが、ミッフィータイムは平成26年9月から布佐分館でも開始しました。主な事業については、今年の1月に国際アンデルセン賞を受賞した上橋菜穂子さんの講演会を実施し、大変盛況でした。
 - 鳥の博物館長：鳥の博物館の施設利用状況について報告します。資料の22ページと23ページになります。22ページは月ごとの入館者数等になります。5月、8月、11月に入館者のピークを迎えます。5月はゴールデンウィークと、エンジョイ手賀沼という、青年会議所をはじめ、地域の団体や我孫子市が参加し、実行委員会形式で実施する、手賀沼を楽しもうというイベントがあります。その時にたくさんの来館者数がありました。8月は夏休みで、鳥の博物館で夏休みの小中学生向けのイベントや自由研究相談を行いました。11月は一番多く、2日間にわたって行われるジャパンボードフェスティバルの時に鳥の博物館も会場の一つとなっていることもあり、3,000人近い方がいらっしゃいました。入館者数に併せて入館料とミュージアムショップの売り上げも比例して増えています。23ページの、一番上の表は5年間の入館者数の変化です。26年度は25年度に比べて入館者数が増えています。平成23年の3月11日以降入館者数が減りがちでしたが、鳥の博物館を訪れる方が増えてきました。また、先ほども説明がありましたが、3館共通券を発行してPRしたことも入館者数が増えた要因になっています。また、山階鳥類研究所と鳥の博物館との共催で珍しい標本を展示して企画展を行いました。ちょうどこの時期に国際鳥類学会が日本で開催されまして、これも入館者が増えた要因となっています。下の表は博物館の活動の基本となる収集状況です。毎年ある一定数を標本にして、展示に活用したり、最近では絵を書く方やカービングをする方がじっくり見たいということで活用したりしています。隣の表の鳥に関する質問は電話や窓口で受けた相談件数となっています。
- 渡邊委員長：各担当から説明していただきましたが、ご意見、ご質問のある方はいらっしゃいますか。
- 森委員：白樺文学館と杉村楚人冠の説明がありましたけれども、井上家住宅や旧村川別荘の見学者数などはわかりますでしょうか。

- 文化・スポーツ課長：白樺文学館と杉村楚人冠記念館については入館料を頂いていますので数字としてお渡ししているのですが、井上家住宅と旧村川別荘は入館料を頂いておりません。管理を委託しているシルバー人材センターから日報をあげていただいておりますので、井上家住宅と旧村川別荘の資料は後日お渡しするという事でよろしいでしょうか。
- 渡邊委員長：他にどなたかご意見、ご質問はありますでしょうか。
- 伴委員：資料1 ページ目の地域交流教室というのはどのようなものでしょうか。
- 生涯学習課長：生涯学習の場として、小学校の空き教室を利用して、ダンス、書道、囲碁、将棋、合唱などの活動をするものです。
- 伴委員：これは、無料でしょうか。
- 生涯学習課長：無料です。
- 渡邊委員長：先ほどジャパンボードフェスティバルの来場者数が減少傾向にあるということでしたが、私も毎年参加していて、年々お客さんが減っているということを感じています。今年は何か変化をさせるということはあるですか。
- 鳥の博物館長：確かに来場者数は減っているのですが、著しい減少ということではなく天候などによるものだと思います。ブースを出してくださる人の数は年々増えています。ただ、今年は15周年ですので、特別な企画をしたいと考えています。
- 公民館長：先ほど申し上げたジャパンボードフェスティバルの人数は全体ではなく公民館のみの集計になります。全体的な数字ではありませんのでご了承下さい。公民館で捉えている数字が前年度よりも減ったということです。
- 渡邊委員長：私がいたのが公民館のほうで、最初の頃は次から次へとお客さんが来て、昼食を摂れない状況が3日間くらい続いた記憶があります。最近は暇な時間がある状態ですから体感的に減ってきたのかなと思いました。
- 鳥の博物館長：会場はアビスタと親水広場があります。親水広場周辺には、舗装された駐車場があり、雨天に影響されないことから、テントブースによる出店の中心がこちらに移ったということもあってアビスタのほうの会場が少さきみしくなったのかもしれない。全体の数にそれほど変化は無いと思われます。
- 渡邊委員長：当初カービングの大会があったのが、最近は上位の作品のみが展示されることになっています。その経緯はどのようなことでしょうか。
- 鳥の博物館長：東京都美術館のほうにカービングの大会が行ってしまったので、これまでのような華々しさはなくなってしまいましたけれども、地域の活動に生かしたカービングを行い、アビスタで展示しています。
- 渡邊委員長：ジャパンボードフェスティバル15周年記念ということなので、期待しています。あともう一点ですが、体育館の利用状況が少なくなってきた、例えば体育館で夜に会議などをやっている、以前はメインアリーナにバレーボール、バドミントン、インディアカ、卓球などの利用者がかなり多くいたのですが、今行ってみるとほとんどがフットサルの利用者で、人数が少なくなっていると感じます。フットサルですから、人数はいるのだと思いますが、すべてのコートがフットサルで占めてしまっています。他の競技に関してはどうなっているのでしょうか。
- 文化・スポーツ課主幹：夜フットサルに開放しているのは我孫子市だけですので、人気があり

ます。競技する趣向が変わってきたことが考えられますが、数字的に見ますと、今年度4月からの利用者は減っていません。

○渡邊委員長：わかりました。私はバスケットボール経験者ですが、バスケットボールで利用している人が少ないので大丈夫かと思って見ていました。

●文化・スポーツ課主幹：一般のバスケットの方でしょうか。

○渡邊委員長：そうです。市民大会には一般の方が出てくるわけですから、大丈夫なのかと思いました。他に質問等ありますでしょうか。

●生涯学習課長：例年ですと、第1回目の社会教育委員会議で、平成27年度事業について説明をしていたのですが、前回の3月に開催されました平成26年度第3回社会教育委員でご説明した、平成27年度の予算要求と事業概要と変わっておりませんので、今回の会議ではご報告を省略させていただきます。

○渡邊委員長：前回の会議では、予算要求と事業概要の報告があり、質疑応答を行いましたので、もし変化があったら事務局から報告をお願いしていましたが、変化が無いということですね。

●生涯学習課長：そうです。

(2) 協議事項

社会教育委員会議で調査研究をする事項の提案について事務局から報告。

●生涯学習課長：委員の皆様には、社会教育委員会議で調査研究をする事項の提案についてお願いしていたところ、ご提案を2件いただきました。その提案について、事前に状況を調査し、提案者にご説明をしました。提案者のほうで考えている状況と少し違いがあるということで、提案は見送りをしたいということになりましたので、現在のところ提案はございません。

○渡邊委員長：現在は提案が出ていないとのことですので、もしこういう部会が立ち上がってもらえれば、という案だけでも出していただければ、ここで部会が立ち上げられるのですが、いかがでしょうか。私がひとつ提案をさせていただいたものは、事前に事務局と打ち合わせをした結果、直接行政のほうに提案して部会を立ち上げるまでも無いだろうということになったのですが、ひとつのきっかけになればと思い提案させていただきます。私は体育協会の理事をさせていただいていますが、卓球連盟で今年副会長になられた方がいらっしゃいます。今、卓球ブームが来ていて世界的にもかなり優秀な選手が日本から出てきています。子どもたちや一般の方の競技人口を広げるにはちょうどいい時期なのですが、卓球をやる場所が無いそうです。学校開放の体育館などは埋まってしまっていて、卓球連盟が教室を開こうにも場所が無いのでどこかに卓球ができる場所がないものだろうか。アイデアをもらえないだろうか、ということが出てきました。いろいろな所でアイデアを出し合い、行政のほうにここは使えないだろうか、などという働きかけができないかと思うのですが、いかがでしょうか。無ければ私のほうで直接で働きかけたいと思います。体育協会でアイデアを出して、それができるかどうか打診をして働きかけたいと思います。

○飯山委員：近くの近隣センターで卓球台を置いてくださっているところがあります。申し込んでホールを使用し、自分たちで卓球台を出して自分たちで片付けるというのが条件で、やっている団体はありました。

○渡邊委員長：近隣センターは、卓球台を置いてあるところとおいてないところがあるようです。

が、全ての場所で置いてあるのでしょうか。

- 文化・スポーツ課主幹：つくし野の近隣センターはスペース上置いてありませんが、ホールを持っているほかの近隣センターには、全部置いてあります。
- 文化・スポーツ課長：あとは夜だったら空いているなど、利用する時間の枠の関係があります。
- 渡邊委員長：先ほど地域交流教室の利用に関して聞かれていたと思うのですが、空き教室などで、もし我孫子市民体育館のように近所に迷惑のかからないようなところがあれば、そこが利用できるかどうか、または時間を少し延長していただくことは可能かなど、体育協会のほうで話し合ってお問い合わせできるかどうかを検討しようと思います。
- 岡本委員：先ほどのスポーツ関係で、空き教室を利用してということですが、空き教室はどのような形になっているのでしょうか。
- 生涯学習課長：空き教室ですけれども、地域交流教室として使う場合は他の教室と隔離できることを前提としています。一般の人が来ますので、子どもたちの教室の中に入れるような形式のところは合わないということで、出入り口を別にしてあります。子どもたちの教室の中には入れないような工夫をしています。
- 岡本委員：スポーツではありませんが、考古物を展示する場所が無いということでしたので、もし空き教室があればそういう一角を活用して、貴重な埋蔵文化財等の使って展示ができればいいのではないかと思います。常時開いていないと意味が無いのですが。
- 渡邊委員長：もし空き教室があった場合、一般の人が子どもたちの教室に入れないようにシャッターをつけるなどすれば、そういう施設として利用は可能でしょうか。
- 生涯学習課長：これは学校や教育総務部とも関係があります。空き教室があったとしても、そのような利用ができるかどうかという問題がありますので、協議が必要です。
- 佐野委員：その年によって、また地域によっても、子どもが増えたり減ったりしています。以前空き教室を利用してそのような施設を作ったが子どもが増えてしまい、教室が足らなくなつて増築をしたということがありました。今は教室が空いているけれども失敗したという例もありますので、難しいと思います。
- 渡邊委員長：今後部会を立ち上げて欲しいという案件がありましたら、年度途中でも立ち上げることでありますので事務局までお願いします。

(3)その他

- ①「我孫子市ラブホテルの建築規制に関する条例」に基づく審査会委員の推薦について事務局より説明。
- 生涯学習課：「我孫子市ラブホテルの建築規制に関する条例」に基づく審査会の推薦について、市長から社会教育委員長に審査会委員の推薦依頼がありました。この審査会は、市民の良好な生活環境及び教育環境を保全するため、ホテル等の建築をしようとする者からの申請があったときに市長の諮問に応じて設置され、建築物がラブホテルに該当するか否かについて、審議し、答申するものです。委員7名のうち、社会教育委員1名に入っていただきます。所管は建築住宅課となります。任期は平成27年9月1日から平成29年8月31日までの2年間となります。なお、申請があつてから審査会が開催されるため、審査会の回数などは決まっておりませ

ん。本日、急ではございますが、この審査会の委員をどなたかにお引き受けいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

- 渡邊委員長：立候補される方はいらっしゃいますか。青少年相談員をやっていた頃、私もこの審査会委員をやったことがあります。我孫子市はラブホテルを作りたいという話がなかなか出ませんので、一回も審査会が開催されたことがありませんでした。ただ、申請があつてから急に審査会委員を選出するといっても困りますので、どなたかお引き受けいただけますでしょうか。無いようでしたら事務局から直接どなたかをお願いさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

②我孫子市生涯学習推進計画策定スケジュール(案)について報告

- 生涯学習課長：我孫子市生涯学習推進計画の策定について報告いたします。6月5日に第1回生涯学習推進計画策定部会を開催しました。内容は生涯学習の抱える課題等の報告とスケジュール等についてです。本日お配りしたのはスケジュール(案)ですが、全部で7回を予定しております。2回目から内容について検討していくことになります。社会教育委員会会議の皆さんには10月末ごろ2回目の会議を予定しているのですけれども、その時に意見をお伺いできればと思っております。また、素案ができて、来年1月にパブリックコメントを予定しています。その時にも意見を頂くことになるかと思っております。ご意見がありましたら事務局のほうにおっしゃっていただければと思っております。
- 渡邊委員長：次回の社会教育委員会会議は、10月の下旬に開催されます。その間4回目まで生涯学習推進計画策定部会は進んでしまいますので、途中経過を皆さんにお知らせするか、次の社会教育委員会会議の前に資料を皆さんにお示ししてそこでご指示いただくような形になるかということなのですが、どうしますか。
- 生涯学習課長：第5回策定部会から素案の検討に入りますので、そのあたりをご覧いただければ意見は出やすいかと思っております。資料をお渡しして意見を伺うということはできます。
- 渡邊委員長：策定部会の中で、多くの方に意見を聞こうということになった場合には皆さんに意見を伺うという形を取りたいと思っております。他にご意見はありますか。無ければ本日の議事が全て終了しましたので、平成27年度第1回社会教育委員会会議を終了します。皆様ご多忙中のところ、ご出席いただきましてありがとうございます。お疲れ様でした。